

## 各県水産練習船の運行状況に関する聴き取り

1. 宮城県 水産高校2校、(専攻科は両校に設置。)島根県と類似。  
練習船(650トン)1隻でマグロ3航海。また、短期航海(5日×3回)で沿岸漁業(イカ釣り)及び航海実習を実施している。  
沿岸漁業実習は小型船(引き縄漁業)でしている。  
大型船での実習により就職しているが、問題になったことはない。
2. 山形県 水産高校は1校(専攻科はなし。)  
練習船1隻(452トン)でマグロ2航海及び沿岸漁業(イカ釣り)を実施している。  
小型船がないので、インターンシップで地元漁船で沿岸漁業の技術を学ぶ。
3. 千葉県 水産高校2校(専攻科は1校にある。)  
練習船は18年度まで2隻(475トン、124トン)所有していたが、19年度より1隻体制となる。実習内容はマグロ3航海及び航海実習(20日)  
今までの中型船の漁業実習を小型船で実施している。(刺網、籠(たこ)、竿釣り)
4. 福井県 水産高校1校(専攻科あり。)  
練習船1隻(499トン)でマグロ3航海及び航海実習(9日)を実施している。  
沿岸漁業実習は小型船(イカ釣り・釣り漁業)でしている。  
大型船での実習により就職しているが、問題になったことはない。
5. 高知県 水産高校1校(専攻科あり。)  
練習船1隻(459トン)でマグロ2航海及び航海実習を実施している。  
練習船での沿岸漁業実習は実施していない。  
(土佐湾は潮流が激しいため、実習を実施するのは困難)  
インターンシップで地元漁船に乗船し沿岸漁業の技術を学ぶ。
6. 愛媛県 水産高校1校(専攻科あり。)  
練習船1隻(499トン)でマグロ1航海及び航海実習を実施している。  
練習船での沿岸漁業実習は実施していない。  
小型船でもほとんど漁業実習(釣り実習)はしていない。  
大型船での実習により就職しているが、問題になったことはない。
7. 大分県 水産高校1校(専攻科あり。)  
練習船1隻(499トン)でマグロ2航海及び航海実習を実施している。  
練習船での沿岸漁業実習は実施していない。  
小型船でもほとんど漁業実習(引き縄漁業)はしていない。  
インターンシップで地元漁船に乗船し沿岸漁業の技術を学ぶ。  
大型船での実習により就職しているが、問題になったことはない。
8. 鹿児島県 水産高校1校(専攻科あり。)  
練習船1隻(645トン)でマグロ3航海  
沿岸漁業実習は小型船(カツオ1本釣り引き縄漁業)でしている。  
大型船での実習により就職しているが、問題になったことはない。
9. 沖縄県 水産高校2校(専攻科は1校にある。)  
練習船は13年度まで2隻(466トン、495トン)所有していたが、14年度より1隻体制となる。実習内容はマグロ2航海及び航海実習(3航海:48日)  
小型船でもほとんど漁業実習(釣り実習)はしていない。
10. 全国水産  
高等学校実習  
船運営協会 全国の海洋・水産高校では、ほとんどが練習船が1隻で実習を実施しているが、船を運航する上で何か問題があったようなことは聞いていない。  
また、各県において新たに練習船をもう1隻増やして2隻体制とするようなことも聞いていない。  
専攻科があれば大型船が必要だと思う。